

予算 常任委員会

2月臨時会
付託案件1件
3月定例会
付託案件15件

2月議会臨時会

議案第2号

問 ふるさときらめき湖南づくり寄附事業について、寄附金の大幅な増額の要因について

答 全国的にふるさと納税の利用者が増えたこと、昨年度と今年度実施したシティーブローモーション事業の効果と捉えています。

問 児童福祉推進事業移転先の石部保健センターの耐震について

答 平成10年の増築部分を使うので問題ない。乳幼児健診はこれまで通り、夏見の保健センターで実施します。

3月議会定例会

全員賛成で可決

議案第12号

問 基金積み立てについて

答 庁舎整備基金に関して一定額の一般財源の確保が必要であるため積み立てます。

全員賛成で可決

議案第16号

問 介護保険認定者の傾向は。

答 要支援・要介護の認定者数は令和元年より令和4年度は110人増加しています。

当初予算審査報告

議案第18号

問 庁舎整備計画について

答 現在の庁舎の耐震は値に基づき、防災拠点をめざすべき施設なのかも含め来年度検討を進めます。

問 手話通訳者の拡充がなされていない点について

答 議会の請願採択を重く受け止め、担当部

から新たに要望がなされたら真摯に検討します。

問 防災行政無線野外拡声子局更新設計業務委託の調査内容は。

答 市内87カ所に屋外スピーカーの音達調査や明瞭性調査を行い、高性能スピーカーを増設して強化していきます。

保育士不足について

問 保育士の養成学校に直接出向きチラシ配布をしながら、引き続き確保に努めます。

問 こどもの居場所モデル事業について

答 夏期休暇の居場所として、児童館のようなイメージで考えています。

問 学校のトイレの洋式化について

答 13校の洋式化率は概ね70%となり、令和5年度で終了となります。

空き地の利活用は。

問 早ければ来年度4月より、都市計画法上の制限緩和策を検討していきます。

問 (仮称)観光プロジェクト推進委員について、その目的と期待することは。

答 お金が落ちるしくみを考え、観光だけでなく、宿泊や体験が出来るなど専門家に相談しながらアクシヨンプランを作成していきます。

反対討論

国の悪政の下、地方自治体として住民のいのちと暮らしを守るという立場に立ちきれません。

賛成討論

市民の意見を拾い集め、施策に反映させた市の姿勢がこの予算に表れています。

88歳の敬老祝金が廃止になることについて
賛成多数で可決

附帯決議が提出された。

長寿を祝福し、高齢者に寄り添う「人生100年時代」にふさわしい施策として、十分検討され適切な対応を求める「高齢者の健康・生きがい・生活に適切な対応を求める附帯決議」

全員賛成で附帯決議を付することに決した。

議案第19号

問 基金増額について

答 コロナウイルスの影響から受診を控える傾向であった。今後、保険料上昇に対して激変緩和策に使っていきます。

反対討論

所得が200万円以下の子世帯が多く加入しており、法定外繰り入れを行うべきです。

賛成討論

持続可能な医療保険制度を構築するため、国民健康保険法に基づいて都道府県単位で進

められており、被保険者の負担は負わなくてはなりません。

議案第22号

問 地域包括センターの運営について

答 相談件数が増えて増額しました。人員体制について増員を図ってまいります。

反対討論

介護保険料が3年ごとに引き上げられている。国庫負担を増やすことを求めます。

賛成討論

地域包括支援センターの4支所が地域で認知され浸透してきた。重層的な体制を整えていく予算に賛成します。

議案第21号

賛成多数で可決

議案第13号、第15号

議案第17号、第20号

議案第23号、第25号

議案第28号

全員賛成で可決

※議案名は、4～5ページをご参照ください。